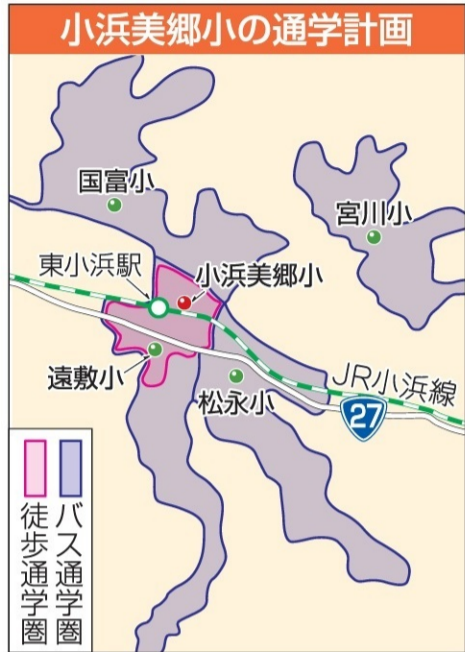


小浜・4校統合の美郷小



2キロ以上はバス通学

安全考慮 全児童の6割対象

小浜市東部の4小学校を統合し2019年4月開校予定の小浜美郷小について市教委は22日、通学距離2キロ以上の児童を対象にバスを運行し、2キロ未満は徒歩通学とする方針を明らかにした。バス通学者は全校児童の約6割に当たる。同市では小学校の徒歩通学圏の基準を「原則4キロ未満」としているが、統合で地区外通学となる児童の安全性を考慮して特例的に緩和する。

(前田卓)

【2面に関連記事】

同日開かれた市会一般質問で、垣本正直議員(誠友会)に理事者が答弁した。

統合する4校の各地区(校区)のうち、バス通学圏となるのは松永、国富、宮川地区の全域と遠敷地区の一部。徒歩通学は、遠敷地区のうち美郷小から2キロ未満のエリアだけとなる。開校時のバス通学児童は196人、徒歩通学は122人と見込んでいる。

市教育総務課によると、4地区の代表者やPTA関係者らでつくる開校準備委員会の同意を得て決定した。同課は「4地区をまたいだ広範囲での統合であり、地区外の新たな道を通学路として登下校することには、さ

まさまざまな危険が考えられるため」と説明している。市内の別の校区では3地区で「原則4キロ基準」に基づくバス通学が行われていることとの整合性を保つ教育的側面と、経費削減の2点を主な目的として、小学校再編を計画。09年時点の概算では統合校(美郷小)のスクールバス経費は年間約3800万円かかるとし、東部4校が存続した場合と比べ、差し引き約1600万円の学校運営費が削減できるとしていた。この日の市会答弁で理事者は「バス経費は関係各課によるワーキンググループで試算中」と述べるにとどまった。